



MAEDAKOSEN

リサイクルプラスチック製プレキャスト枠

ハイブロック[®]



前田工織

ハイブロックはのり面表層の侵食防止や緑化を目的とし、表面排水機能を有するため、緑化基礎工として使用することで中詰材の保持性能を向

ハイブロックの特長

●優れた耐久性・耐候性

十分な強度を有し、耐久性（耐候性・耐薬品性・耐衝撃性）に優れます。

●高い排水性能

雨水等の表流水を排水しやすい形状で、のり面や斜面の侵食を防止します。

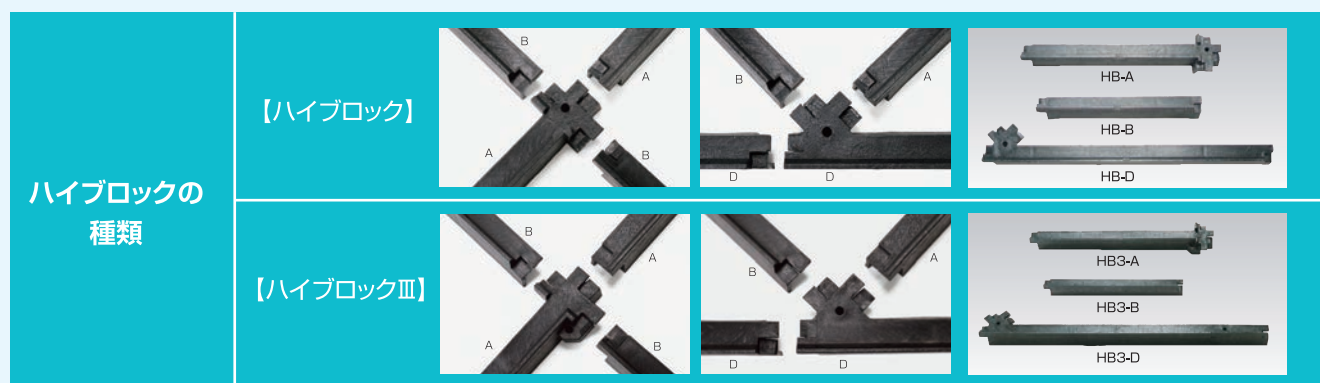
●簡単な作業

軽量な材料を簡単に枠組みでき、また、コンクリート基礎も必要としないため、施工の省力化が図れます。

●環境配慮

リサイクルプラスチックを利用し、限られた資源を有効活用します。

※ハイブロック緑化基礎工であり、単体では侵食防止効果・崩壊抑止能力はありません。斜面状況に適した中詰材を使用し、のり面保護に努めてください。



ハイブロック：1m²の格子枠を形成。のり面の長さ10m、勾配1：1.0において、毎時100mmの降雨を速やかに排水します。

ハイブロックⅢ：1.5m²枠にサイズUPし、単位面積あたりのコストダウンを可能にします。比較的ゆるやかなのり面に適しています。

施工手順

1 のり面の整形 (写真1)

- 念入りに地山の整形を行う。
- のり面に湧水がある場合には、表面水とならないように対策工を施す。

2 基礎部の設置 (写真2)

- 基礎部のD型に1段目のA型とB型を組合わせ（仮置き）、D型の設置位置を調整する。
- のり面に直角になるようにD型部材にアンカーを打設する。
- のり尻部の洗掘や浸食が懸念される場合には、必要に応じて基礎工を設ける。

5 最上段の設置

- 最上段に、B型と天端のD型を組合せ、水路の直線性を確認したら、下段方向から、格子部をアンカーで固定する。

6 中詰工 (写真6)

- 客土する場合は、良質土を枠工下端からよく締め固めながら枠の高さまで仕上げる。締固め不足による、中詰材のはらみ出しを防ぐ。
- ぐり石は小口を立てて張り、かみ合わせを十分に作る。
- 玉石等を詰める場合は、切込み砂利等で隙間を充填する。
- 必要に応じて種散布工等を行う。



たリサイクルプラスチック製の軽量なプレキャスト枠です。
上させます。湧水の多い場合は、ぐり石などの保持にも利用できます。

規格

タイプ	品番	長さ (mm)	設置勾配	格子面積 (㎡)	素材
ハイブロック	HB-A	1000	1:1.0より緩い (1:1.0を含む)	1.0	リサイクルプラスチック
	HB-B	900			
	HB-D	1414			
ハイブロックⅢ	HB3-A	1225	1:1.2より緩い (1:1.2を含む)	1.5	
	HB3-B	1125			
	HB3-D	1732			

土質によるアンカー(異形棒鋼)の標準寸法

規格	土砂部 (盛土部含む)	軟岩部
長さ(mm)	1000	500
径(mm)	HBタイプ：D22	HB3タイプ：D19

※交点部分とD型部材に、すべり止めのためのアンカーを設置する。

標準歩掛り

(人/100㎡)

種 別		単位	切 土		盛 土	
工 種	作業内容		1:1.0	1:1.5	1:1.5	1:1.8
のり面工	枠組工	人	2.5	2.3	2.3	2.2
	杭打工	人	3.1	2.9	2.9	2.8
	縁材組立工	人	1.4	1.3	1.3	1.3
	計	人	7.0	6.5	6.5	6.3
普通作業員	小運搬	人	0.8	0.7	0.7	0.6

1.人工は切土7m高までとする。

2.高所小運搬費を含むが、7m以上は別途計算。

3.中詰工に関する歩掛りは、国土交通省土木工事積算基準(プレキャスト法枠工)に準拠する。

3 1段目の設置 (写真3)

- 1段目の上部に、さらに3～4段、A型とB型を組合せ(仮置き)、水路の直線性を確認したら、1段目の格子部をアンカーで固定する。

7 水路の清掃

- 降雨時の通水量を確保するため、水路上の異物や土等を取り除く。

4 2段目以降の設置

- 1段目の位置と同様に、上部に1段、A型とB型(仮置き)を組合せ、水路の直線性を確認したら、2段目(次段)の格子部をアンカーで固定する。
- 最上段の1段下まで、枠材の設置と固定を繰り返す。

8 完成 (写真8)



施工例



前田工織株式会社

東京本社／〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1

東京営業部 芝パークビルA館12F

TEL.03-6402-3944 FAX.03-6402-3945

福井本社／〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目38-3

福井営業部 TEL.0776-51-9200 FAX.0776-51-9236

札幌支店／TEL.011-733-3360 FAX.011-733-3365

仙台支店／TEL.022-726-6670 FAX.022-726-6671

名古屋支店／TEL.052-971-8020 FAX.052-971-8021

大阪支店／TEL.06-4256-1136 FAX.06-4256-1166

広島支店／TEL.082-262-5555 FAX.082-262-5565

四国支店／TEL.089-998-3577 FAX.089-998-3511

福岡支店／TEL.092-282-1033 FAX.092-282-1035

盛岡営業所／TEL.019-606-3386 FAX.019-606-3078

新潟営業所／TEL.025-250-7803 FAX.025-250-7806

金沢営業所／TEL.076-288-6077 FAX.076-288-6078

岡山事務所／TEL.086-805-0355 FAX.086-805-0357

鹿児島事務所／TEL.099-295-3226 FAX.099-295-3256

<https://www.maedakosen.jp/>

沖縄コーセン株式会社

本社／〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-10-16 沖縄バスビル2F

TEL.098-860-3404 FAX.098-860-3418